

教材の構成

本教材の構成は下記の通りです。

- ・ オープニングスライド (PowerPoint) 所要時間 5分 | 本
- ・ 各テーマ・対象者にあわせた PowerPoint 教材 23本 (1本あたり所要時間は約15分)
- ・ エンディング (PowerPoint) 所要時間 5分 | 本

	小学校 1~3年	小学校 4~6年	中学生 高校生	保護者	一般 利用者
①SNS	○	○	○	○	○
②ペアレンタルコントロール	○	○	○	○	
③最近のサイバーセキュリティの脅威		○	○	○	○
④ネットの仕組み	○	○	○	○	○
⑤標語を作ろう!	○	○	○		
⑥未就学児の保護者へ				○	
⑦BYODの時代へ			○		



教材は、対象と実施時間に応じて組み合わせて使ってください。

小学校、中学校、高等学校においては、学習指導要領より「情報モラル指導モデルカリキュラム表」と対応させ、各教材の対応項目番号を記載しています。

※参考資料 文部科学省「情報モラル指導モデルカリキュラム表」

(別紙1)

情報モラル指導モデルカリキュラム表

この表は、情報モラルの指導（リテラシー）の内容を指導領域「意図」が示すように、7年として記述しています。この中で、リテラシーの目標は、学習指導要領の中で記載していることが多く、必ずしもリテラシーを専らにして、それ以外の学習で、地域の活動に合わせ、情報モラルのリテラシーを養成して、実践してください。

各領域の目標は、地域によって異なります。http://www.soumu.go.jp/a_main/contents/seisaku/infomoru/

学習領域	1-2 小学校1~2年	1-3 小学校3~4年	1-4 小学校5~6年	1-5 中学校	1-6 高等学校	
1. 情報モラルの基礎	4-1-1 使用する情報や情報社会の仕組みを理解する 4-1-2 使用する情報や情報社会の仕組みを理解する 4-1-3 使用する情報や情報社会の仕組みを理解する	4-2-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-2-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-2-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-3-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-3-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-3-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-4-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-4-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-4-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-5-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-5-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-5-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-6-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-6-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-6-3 他人や社会への危害を予測し、回避する
2. 情報モラルの活用	4-7-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-7-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-7-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-8-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-8-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-8-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-9-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-9-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-9-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-10-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-10-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-10-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-11-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-11-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-11-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-12-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-12-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-12-3 他人や社会への危害を予測し、回避する
3. 情報モラルの発展	4-13-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-13-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-13-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-14-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-14-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-14-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-15-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-15-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-15-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-16-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-16-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-16-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-17-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-17-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-17-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-18-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-18-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-18-3 他人や社会への危害を予測し、回避する
4. 情報モラルの応用	4-19-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-19-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-19-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-20-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-20-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-20-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-21-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-21-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-21-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-22-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-22-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-22-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-23-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-23-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-23-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-24-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-24-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-24-3 他人や社会への危害を予測し、回避する
5. 情報モラルの創造	4-25-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-25-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-25-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-26-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-26-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-26-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-27-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-27-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-27-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-28-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-28-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-28-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-29-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-29-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-29-3 他人や社会への危害を予測し、回避する	4-30-1 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-30-2 他人や社会への危害を予測し、回避する 4-30-3 他人や社会への危害を予測し、回避する

● 情報モラル指導モデルカリキュラム表は、文部科学省の委託事業として作成されたものです。

●小学校 5,6 年生対象 45 分授業での教材使用例

④情報モラル、セキュリティとは【オープニング】 5分

便利な面と困った面があるインターネット、情報モラル、情報セキュリティについて学び、考えよう。

①SNS 15分～20分

トークアプリや動画共有サイトなどを閲覧、投稿した場合に起こる危険について、動画を視聴し、主人公の行動の何が問題だったかを考える。動画教材から「思わぬことから」個人情報がわかること、また「見知らぬ相手」がかならずしも良い人とはかぎらないことに気づき、その対応策として保護者との確認を促す。

⑤標語をつくろう！15分～20分

情報モラル、情報セキュリティを学び、考えた上で、自分の為に、また人に伝える為に標語を作成するワーク。標語を作る上でのポイントや注意点を学ぶ。

標語って何だろう？ 標語を作るためのポイントを学ぶ。

1.テーマの設定 2.キーワード設定、また良い標語を鑑賞し、自分の標語を見直す。

★ワークシート作成例



みんなの安全教室
IPAインターネット安全教室ワークシート

年 組 番 名前 _____

◆動画教材を見て考えよう

① なぜペアコさんは止めたのでしょうか？みなさんが気になったところを書きましょう



② 標語（ひょうご）を考えよう！ テーマを決めよう

キーワードを決めよう

標語（ひょうご）を書こう！

③ あなたはこれからどのようにインターネットを活用したいですか？

標語の作品ができれば

IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」に応募しよう！



●各 PowerPoint 教材の構成

1. オープニングスライド…右上にテーマと対象表記されています。日付、学校名、主催者名などを追記し、教室のオープニングスライドとして使用してください。
2. 本教材の使用方法スライド…各教材には、①テーマのねらい②教材のねらい③指導のポイントが記載されています。使用時にはこのスライドは非表示にしてください。
3. 内容スライド…テーマ内容の学習のためのスライドです。

スライドの上部は次の通り色わけがされています。

- ・黄色帯…「問いかけ」「質問」「考えてみよう」等、参加者に「考えるきっかけ」を与えるスライドです。
- ・オレンジ色帯…問いかけに対する答えや導かれる内容を記載したスライドです。
- ・緑帯のスライド…ポイントや小まとめとなる内容を記載したスライドです。
- ・青帯のスライド…動画教材が埋め込まれたスライドです。クリックで再生が始まります。動画再生時間は、ノートに記載されています。全体の動画を見る場合は、ノート記載の URL から視聴できます。

トークアプリの仕組み

1対1のやりとりも同じ

明日サッカーしようよ

WEBサーバ

明日サッカーしようよ

明日サッカーしようよ

コピーするのもかんたん

この写真おもしろい！ほかの人にも送ろう

トークアプリの仕組み

【導入時のポイント】
トークアプリは相手のスマートフォンなどに直接メッセージが届いているわけではないことを理解してもらう。

《講師のセリフ例》
トークアプリを使っているとその裏側ではどんなことが起きているか、図で説明しましょう。
トークアプリで4人の友達がメッセージのやり取りしています。
メッセージは友達スマートフォンに直接届いているわけではありません。

【進行のポイント】
トークアプリはサーバを通じてやり取りされ、内容がサーバに保存されていることを伝える。

《講師のセリフ例》
真ん中にあるサーバというインターネットにつながったコンピューターにメッセージが記録保存され、そのサーバを通じてやり取りをしているのです。

ノートの活用

ノートには、【ポイント】《講師のセリフ例》<クリック>※注意点・留意点等が記載されています。ポイントをおさえて、ご自身の言葉で伝えてください。

4. まとめスライド…各テーマのまとめスライドです。各テーマ1～3枚あります。上部に「まとめ」と記載があるか、右下に7人の人々が描かれたイラストがあります

